

全国学力・学習状況調査から見える花巻市の状況 ～平成30年度全国学力・学習状況調査結果と改善の方向性～(花巻市教育委員会)

平成30年度全国学力・学習状況調査が4月17日(火)に小学6年生(772人)、中学3年生(852人)を対象に実施され、結果が7月31日(火)に公表されました。花巻市の状況をお知らせします。

平成30年度 教科調査の結果(小学6年生、中学3年生) ー全国・県との比較からー

◆平成30年度教科調査平均正答率一覧 ※正答率は、小数点以下は四捨五入して、整数値で示しています。【単位%】

小学校	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	中学校	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
花巻市	74	56	64	52	61	花巻市	77	64	63	45	66
岩手県	74	57	63	51	61	岩手県	76	61	62	43	65
全国	71	55	64	52	60	全国	76	61	66	47	66

【小学校】 全国、県との比較でおおむね好ましい傾向

全国平均正答率との比較では国語A、国語B、理科で1～3%上回り、算数A、算数Bで同等でした。県平均正答率との比較では算数A、算数Bで1～3%上回り、国語A、理科で同等、国語Bで1%下回りました。全国との比較ではおおむね好ましい状況ですが、県との比較では国語Bで改善が望まれます。

【中学校】 県との比較で好ましい傾向、全国との比較では数学が課題

全国平均正答率との比較では国語A、国語Bで1～3%上回り、理科で同等、数学A、数学Bで2～3%下回りました。県平均正答率との比較では国語A、国語B、数学A、数学B、理科すべてで1～3%上回りました。県との比較ではすべての教科で好ましい状況ですが、全国との比較では数学A、数学Bで改善が望まれます。

教科調査結果の経年変化(小学6年生、中学3年生) ー全国・県との比較からー

◆小学校の県比・全国比の経年比較一覧 ※数値は、小数点以下は四捨五入して、整数値で示しています。【単位%】

県比	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	全国比	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
30	0	-1	+1	+1	0	30	+3	+1	0	0	+1
29	0	-1	-1	0		29	+2	+1	+1	-1	
28	0	-1	0	0		28	0	+1	0	0	
27	+2	+3	+2	+1	+4	27	+5	+5	+3	-1	+5

◆中学校の県比・全国比の経年比較一覧 ※数値は、小数点以下は四捨五入して、整数値で示しています。【単位%】

県比	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	全国比	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
30	+1	+3	+1	+2	+1	30	+1	+3	-3	-2	0
29	+2	+1	+2	+2		29	+3	+1	-3	-1	
28	0	+1	+1	+1		28	+1	+1	-3	-3	
27	-2	-3	-1	-2	-2	27	-2	-4	-6	-6	-4

【小学校】 全国との比較でおおむね好ましい傾向、県との比較では同程度で推移

小学校の状況は、「花巻市学力向上アクションプラン」を策定した平成27年度の時点で、全国や県と比較してほとんどの教科で上回っていましたが、平成28年度以降は、3年ぶりに実施した理科を含めて、全国や県と同程度を維持して推移しています。

【中学校】 県との比較で好ましい傾向、全国との比較では数学が課題のまま推移

中学校の状況は、「花巻市学力向上アクションプラン」を策定した平成27年度の時点で、全国や県と比較してすべての教科で下回っていましたが、平成28年度以降は、3年ぶりに実施した理科を含めて、改善傾向にあります。しかし、全国との比較では、毎年、数学の落ち込みが課題のまま推移し、抜本的な改善策を要す段階と認識しています。

平成30年度 児童生徒質問調査の結果（小学6年生、中学3年生）—全国・県との比較から—

平成30年度児童生徒質問紙調査は、昨年度の小学校92項目、中学校94項目から小学校62項目、中学校59項目に大幅に精選され、児童生徒の普段の生活や学習の様子について調査したものです。

【全国・県に比べて強い肯定的回答が目立つ項目】人としての有様、基本的生活・学習習慣、地域とのかかわり

花巻市の児童生徒は、全国・県に比べて、「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」などの人としての有様、「毎日、朝食を食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝起きしている」などの基本的学習習慣、「家で、自分で計画を立てて勉強している」「家で、学校の授業の予習・復習をしている」などの基本的学習習慣、「地域の行事に参加している」「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」などの地域・社会とのかかわり、その他数多くの項目で強い肯定的回答をしています。

【全国・県に比べて強い肯定的な回答が同等以下の項目】家庭学習時間、「算数・数学」に係る学習

一方、全国・県に比べて強い肯定的な回答が同等以下の項目は限られています。その一つが、昨年度の本分析で取り上げた「普段、2時間以上勉強している」など家庭学習時間に関わること、もう一つが、同じく昨年度の本分析で取り上げた「算数・数学が好き」など算数・数学に係る学習です。

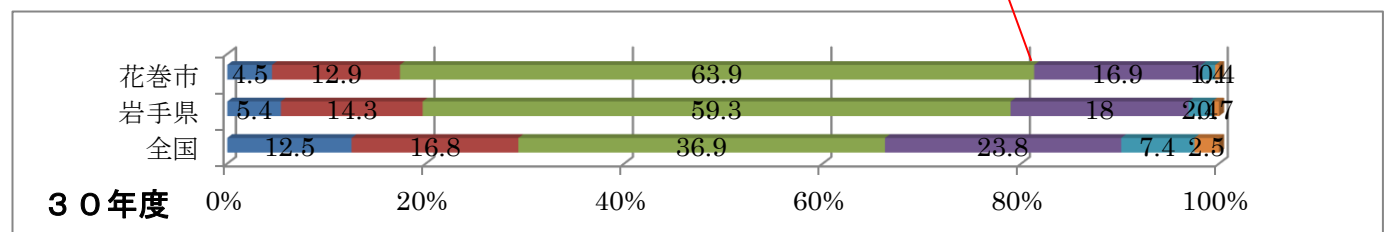
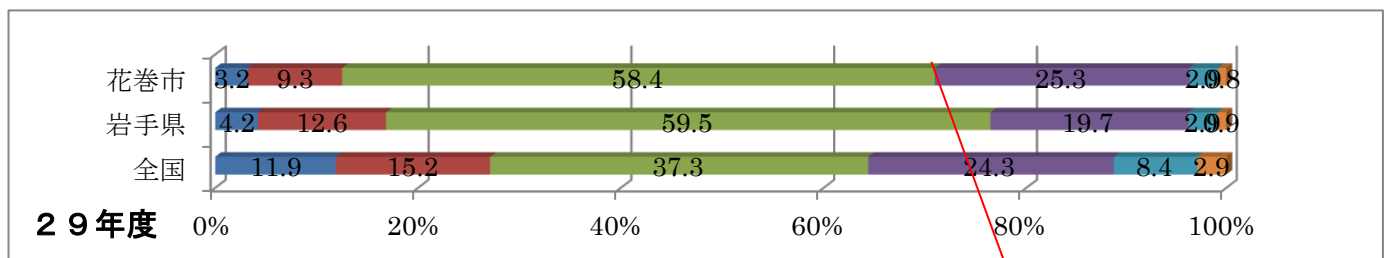
児童生徒質問紙調査の経年変化（小学6年生、中学3年生）—全国・県との比較から

特に、花巻市の大きな課題の家庭学習時間については、依然として「普段、2時間以上勉強している」割合は全国、県に及ばないものの、昨年度との比較では、小中学校ともにわずかながら改善の兆しが見られます。

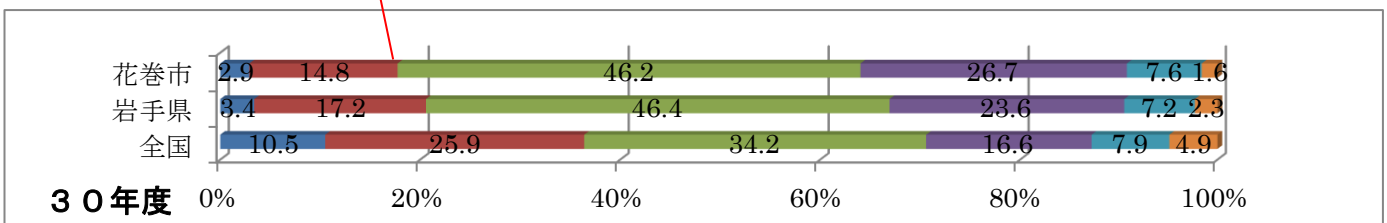
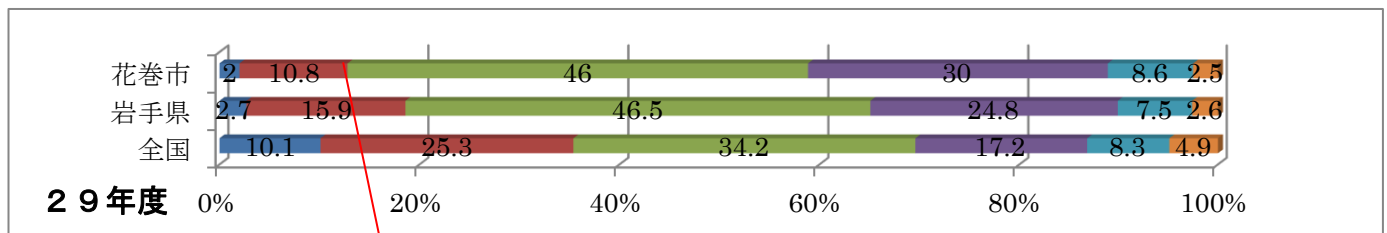
◆学校の授業時間以外に、普段（月～金）1日どれくらいの時間勉強しますか（学習塾、家庭教師に教わるも含む）

■3時間以上 ■2時間以上、3時間より少ない ■1時間以上、2時間より少ない ■30分以上、1時間より少ない ■30分より少ない ■全くしない

【小学校】 1時間以上の家庭学習時間は県を上回り、29年度70.9%⇒30年度81.3%へ増加



【中学校】 2時間以上の家庭学習時間は県に近づき、29年度12.8%⇒30年度17.7%へ増加



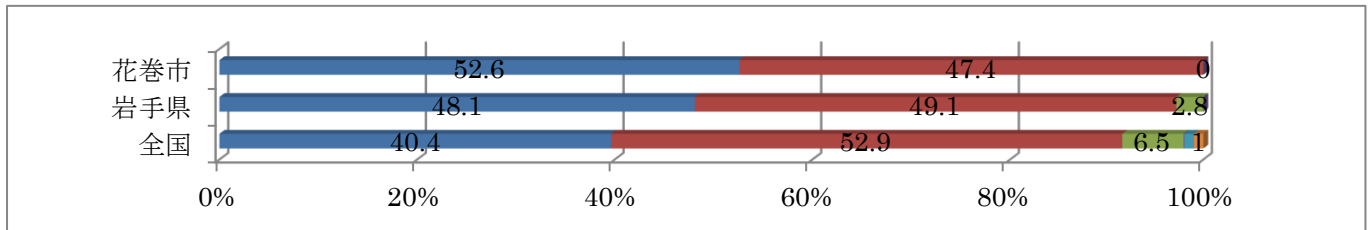
平成30年度 学校質問紙調査の結果（小学校、中学校） —全国・県との比較から—

全国学力・学習状況調査では、教科調査、児童生徒質問紙調査と併せて、学校質問紙調査を実施しています。先の家庭学習に係る学校の取組は次のようになっており、小中学校ともにわずかながら改善の兆しが見られたのは、中学校区単位で家庭教育スタンダードを作成するなど、家庭学習を推進する取組の成果によるものと受け止めています。

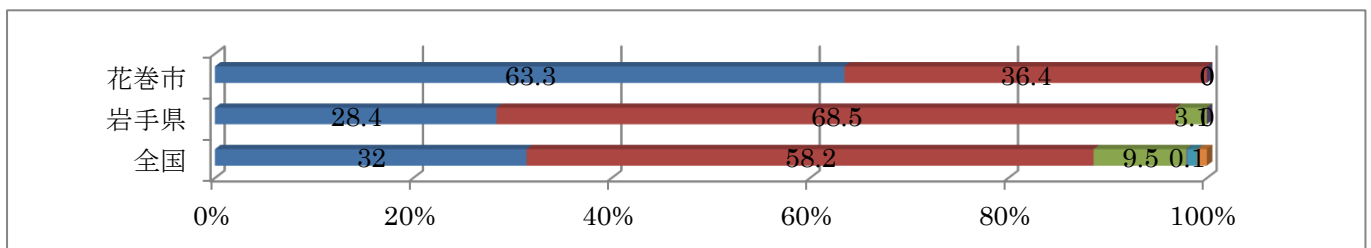
◆調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか

■よく行った ■どちらかといえば、行った ■あまり行っていない ■全く行っていない

【小学校】 強い肯定的な回答は昨年度に続き県、全国を上回り、29年度68.4%⇒30年度52.6%



【中学校】 強い肯定的な回答は県、全国を大きく上回り、29年度54.5%⇒30年度63.6%へ増加



「花巻市学力向上アクションプラン」には、「家庭学習の充実」の他、児童生徒の学力に影響する「学級・教科指導環境の向上」「授業改善の推進」を位置付け力を入れて取り組んでいます。これらに係る学校質問紙調査の結果は、家庭学習に係る取組と同様に、総じて全国、県より高くなっています。小学校の各教科、中学校の数学を除く教科において、全国、県と遜色ない成果が出ている要因と推測することができます。

中学校数学等の学力向上に向けた抜本的対策の推進

それでは、なぜ長年にわたり中学校数学で全国より落ち込みがあるかということが問題になります。あくまでも仮説ではありますが、現時点では次のように分析し、抜本的な改善のための手立てを考えているところです。

【長年にわたり中学校数学(おそらく英語も)が全国より落ち込んでいる原因の分析】

- ・一般的、経験的に、学習塾を含む家庭学習の時間の大部分は、数学、英語に費やされることが多いと思われます。
- ・花巻市の中学生は家庭学習の時間が全国、県より少なく、必然的に数学(おそらく英語も)に費やす学習時間が全国より少ないと思われます。
- ・その結果、国語などの他の教科に比べて、全国との比較で数学(おそらく英語も)の学力の課題が顕在化しているのではないかと考えられます。

【中学校数学(おそらく英語も)で成果を上げるための抜本的な対策】

長期的対策 花巻市教育委員会として、特に数学や英語を中心に、中学生を対象にした家庭学習推進のための指導プログラムを用意し、各学校と協力して児童生徒の家庭学習習慣の意識を高めます。

短期的対策 花巻市教育委員会として、中学生用の数学と英語の自立的な学習を進めるためのテキストを作成して全生徒に配布し、当面は中学校の教育課程に家庭学習につなげるための数学と英語の自立的な学習の時間と場を位置付ける取組を推進します。

第2期（平成28～32年）花巻市教育振興基本計画【基本目標】

郷土を愛し、丈夫な体と深い知性を持つ心豊かな市民が育つまち
～すべての市民が学び合い、たくましく生き抜く強さと、思いやりの心を育む“人づくり”をめざして～

（2）学校教育【実現を目指す基本方針】

子どもたちが、夢と希望をもち、たくましく、いきいきと育つまち
市の将来を担う子供たちの「郷土への愛着」「丈夫な体」「深い知性」「豊かな心」を育む学校教育環境をつくります

学校教育課では、第2期花巻市教育振興基本計画に掲げた基本目標を目指して取組を具体化していくために、市内各校の学校の実態を的確に把握しながら目指すべき児童生徒像を想定し指導目標を設定しました

《花巻市学校教育指導目標》

心豊かで深い知性を持ち、夢や希望の実現にむけてたくましく生き抜く人間の育成

2 学校教育の充実【実現に向けた取り組み】

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 学力の向上 | 2. 体力の向上 |
| 3. 豊かな人間性の育成 | 4. 個に応じた支援体制の充実 |
| 5. 学校保健の充実 | 6. 教育環境の充実 |

1. 学力の向上

（1）「確かな学力」の形成

No.1 的確な実態把握による授業改善と学力の向上

①目標

- ・児童生徒の学習内容の定着度を、諸調査を活用して客観的に把握し、『いわての授業づくり3つの視点』を大切にされた授業づくりと新学習指導要領で示された『主体的・対話的で深い学び』を意識した授業づくりに、組織的に取り組むことを目指す。
- ・花巻市学力向上対策として、「学習環境の向上の取組」、「授業改善の取組」、「家庭学習の充実の取組」の3点の改善策が、各学校で組織的に図られることを目指す。

②平成30年度の重点

- ・前年度に作成した『H30 学力向上アクションプラン』を活用し、各校における検証と改善のサイクル（CAPD サイクル）が、組織的、計画的に推進されるようにする。

③主な取組

【学力向上推進事業】

- 学力向上アクションプランの推進
 - ・諸調査（全国学調・県学調等）を根拠にしたアクションプランの策定と活用
 - ・アクションシート（中2学習定着問題シートへの取組）
- はなまき授業サポーター、授業サポーターの配置（小8名 中4名）
- 授業力向上支援（数学・外国語関係外部講師招聘）[研究所]
- 家庭教育力の向上（教育振興運動推進協議会および花巻市PTA連合会との連携）
- CRTテストの実施（市教委依頼対象学年 小3・4 国算、中1 国社数理）
- 学力向上支援員の配置（1名 諸調査の分析と結果の周知、学校訪問等）
- 外国語教育支援員の配置（1名 小学校の外国語活動、外国語教育の実施に向けた指導、中学校外国語教育の学力向上支援）

【小学校外国語教育推進事業】

- 全小学校へALTを派遣（3・4年8時間程度、5・6年25時間程度）
- 教科化に向けた指導内容や指導体制の調査、検討[研究所]

【中学校外国語教育推進事業】

- 全中学校にALTを派遣（1クラス年間12時間）
- 英語検定料全額助成

No.2 教職員の指導力向上と研究研修の奨励

①目標

本市における教育課題の解決のため、積極的かつ計画的な研究や研修を推奨し、教職員の資質の向上と指導力の一層の充実を目指す。

②平成30年度の重点

・教育研究所が有する機能を生かし、学校教育上や自校の児童生徒に関する課題に対して実践的または先進的な研究を推進し、花巻市教職員の資質、指導力の向上を図る。

・**小学校の外国語活動、外国語科の実施（H32）に向けて、指導の内容と方法の充実を図る。**

③主な取組

【教育研究所主催事業】

○研究事業（研究班研究・一人一研究・教育研究所発表会）

《研究班研究》外国語学習指導研究班 ICT活用指導研究班 保幼小連携研究班

《教育研究所発表会》5月・1月 全体会と分科会

○研修事業（全体研修会・教科等部会研修会・小中交流研修・特別研修）

《特別研修》学力向上推進事業（小外国語・中数学）

ふくろう講座（H30 小学校外国語活動・外国語）

授業実践公開研究会（H30 笹一小 亀ヶ森小 花巻北中 石鳥谷中）

○副読本作成事業（全面改訂に向けて H30 計画 H31 作成）

○教育情報事業（資料の整理及び活用、所報はなまきの発刊等）

(2)「社会の変化に対応した」教育の推進

No.3 小規模校の協同的学びの場の設定

①目標

小規模に在籍する児童の、同年齢集団の学習機会を確保するために、発達課題に応じた共同的な学びの場を提供します。

②平成30年度の重点

・まなび交流事業の計画的な実施を図る。

③主な取組

【まなび交流学習事業】音楽・体育・総合的な学習等の交流を実施（大迫・笹間）

No.4 保幼小連携、小中連携の充実

①目標

・保育園や幼稚園から小学校への円滑な接続を目指した連携強化を図る。

・中1ギャップの解消と9年間を見越した学力向上と生徒指導の充実を目指す。

②平成30年度の重点

・アプローチカリキュラムの普及、各学校におけるスタートカリキュラムの作成。

・小中交流研における、学区ごとの重点取組（共通取組）事項の確認と実施。

③主な取組

【はなまき保幼小一体研修事業】保幼小連携研修（各種参観・ブロック会議）[こども課]

【研究所研究班】保幼小によるアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの実践研究

【小中連携強化事業】

○学区小中学校において小中連携して家庭学習充実等の検討を実施

○小中連携教育実践校への支援（花巻北中学区、西南中学区）[研究所]

No.5 情報活用能力の育成

①目標

・情報環境の整備、教育用コンテンツなどソフトウェアの充実を図るとともに、児童生徒の情報活用能力の育成を目指す。

・市アンケート調査の実施と結果の周知により、小学校から高等学校まで継続・連携した指導を推進し、児童生徒、保護者に対し、情報モラルの確実な理解を促進する。

②平成30年度の重点

・ICT教育の具体化を図る。

・情報機器使用状況調査の結果や分析をもとに、情報モラル教育の充実を図る。

③主な取組

【情報教育機器の整備】機種更新等環境整備（タブレットの支給 [H30] 宮野目小、内川目小、亀ヶ

森小、花巻中、花巻北中、湯口中、湯本中、石鳥谷中、〔H31〕 笹二小、大迫小、南城中、矢沢中、宮野目中、西南中、東和中、〔H33〕 若葉小、桜台小、南城小、湯口小、湯本小、矢沢小、石鳥谷小、新堀小、八幡小、八重畑小、東和小、〔H34〕 大迫中)

【研究所研究班】 I C T 研究班[研究所]による教育効果を高めるための電子黒板などの ICT 機器の活用の在り方に関する研究

【生徒主体の取組】 情報機器利用について、生徒(児童)会活動を通じた、生徒(児童)が主体となった取組を実施

【情報機器使用状況調査】 情報機器使用状況調査の実施と分析、各校での調査結果を活用した指導[生徒指導連絡協議会]